

OUCH!

今月のトピック...

- ・はじめに
- ・基本について
- ・訪問について

セキュリティのジェネレーションギャップを埋める

はじめに

私たちはさまざまなテクノロジーを使い、安全に利用する方法も知っています。しかし、家族には、小さいころからコンピュータやインターネットと接していないために、テクノロジーにあまりなじめていない可能性がある人もいます。このジェネレーションギャップを埋めるために取ることができる対策をこれからご紹介します。また、子供がテクノロジーを安全に利用するためにいくつかの対策を取っている方もいらっしゃるでしょう。

親戚の家を訪問した時はこれらの対策がなされていない可能性があります。このようなときのために、親戚の家を訪問した時でも、子供が安全にテクノロジーを利用することができるようにする対策もご紹介します。

ゲストエディター

ブライアン・ホーナン氏 (ツイッター@brianhonan) は、アイルランドのダブリンを拠点に活動するセキュリティコンサルタントで、アイルランドの最初の CERT を設立・指揮した経験があるほか、Europol の Cybercrime Centre (EC3) のスペシャルアドバイザーです。また、ダブリン大学で情報セキュリティの講義も行っています。同氏は、多くの著書があり、執筆活動は多くの業界誌に対して行っています。

基本について

いくつかの基本的な対策を取ることは、デジタルライフを安全にするための大きな一歩となります。これらの基本的な対策は、すべての家族に推奨できるものです。しかし、これらの対策の有用性を理解できない家族がいらっしゃる場合は、一緒に対策を取るようになるか、あるいは自分で対策を取るよう仕向けるしかありません。

- **ソーシャルエンジニアリング:** ソーシャルエンジニアリングについては、誰でも理解できるような言葉で説明するようにしてください。詐欺や詐欺師は昔から存在していますが、詐欺のテクニックをオンライン上で実現しているだけだということを説明してください。その際、一般的に行われる詐欺を例に挙げるといいでしょう。例えば、フィッシングメールやマイクロソフト・テクニカルサポートの電話などが有名でしょう。家族の中で、他人にパスワードを教えるのはいけない、コンピュータに対しリモートアクセスの権限を与えてはいけないことは最低限理解しておくべきことです。最後に、メールや電話の内容におかしなところがあったり回答に困った場合は、メールの送信者や電話の相手に情報を伝える前に、あなたに相談してもらうようにしておくことが重要です。
- **自宅のWi-Fiネットワーク:** 自宅のWi-Fiネットワークが安全であることを、時間をたっぷりかけて確認してください。最低でも、管理者アカウントのパスワードをデフォルトのパスワードから変更していること、Wi-Fiネットワークにアクセスするためのパスワードが十分に強力なものであること、および通信に最新の暗号アルゴリズムを使用しているかといった点を確認してください。また、Wi-Fiネットワークの設定を確認して、安全とされるDNSサービス (例えば www.opendns.org) を使用することも検討してください。安全なDNSサービスを使うことで、マルウェアに感染しているウェブサイトへのアクセスを止めることができるだけでなく、ウェブサイトによってアクセ

セキュリティのジェネレーションギャップを埋める

スの可否をコントロールできるので、子供を有害なコンテンツから守るためには重要な対策です。

- **パッチの適用:** テクノロジーを安全に利用するための基本的な対策として、システムを最新の状態に保つことが挙げられます。家にあるすべての機器（モバイル機器も含む）やアプリケーションが最新の状態となるようにしてください。最新の状態を確保するための簡単な手順としては、自動更新を有効にするという方法があります。
- **アンチウイルス:** ソフトクリックしてはいけないものをクリックしてしまったり、インストールしてはいけないものをインストールしてしまったりするなど、人はミスをするものです。アンチウイルスソフトは、すべてのマルウェアを検知できるわけではありませんが、広く攻撃に使われているものを検知し、止めることができます。家にある全てのパソコンに、アンチウイルスソフトがインストールされていることを確認し、最新の状態であること、アンチウイルス機能が有効であることを確認してください。
- **パスワード:** 強力なパスワードは、機器やオンライン上のアカウントを守るために必要なものです。家族に対して、強力なパスワードを作るためにはどのようなことを考えたらよいのかを説明してください。その際、覚えるのも比較的楽なパスワードを利用することを勧めるのがいいかもしれません。あるいは、パスワードマネージャをインストールし、その利用方法を教えるのもいいかもしれません。いずれかの対策を取ることができない場合は、パスワードを紙に書くことを認める代わりに、パスワードを書いた紙を自分しか手にすることができない場所に保管するように促してください。また、重要なアカウントに対しては、2段階認証の機能を利用することも検討してください。
- **バックアップ:** ここまでのセキュリティ対策を正しく取ることができなかったとしても、バックアップによって、家族に救いの手を差し伸べることができます。そのためには、家族が信頼できるバックアップシステムを利用できるようにしてください。

あなたは、1か月に1回、もしくは3か月に1回、家族がこれらの対策を実践していることを確認してください。その場合、リモート管理ツールのインストールを検討してください。ただし、このツールをインストールする場合は、最低でも暗号による保護と、強いパスワードの設定を行うことが必要です。

訪問について

小さい子供が親戚の家、例えば祖父母の家を訪問する場合、自宅のセキュリティルールが適用できない場合がある



個人情報や身元情報を守るために、パスワードを利用するのは、非常に効果的な手段です。

セキュリティのジェネレーションギャップを埋める

でしょう。子供をオンラインの脅威から守るためのルールも例外ではありません。ここでは、子供を守るための対策をいくつか紹介します。

- **ルール:** 子供にセキュリティルールを設けている場合は、それらを訪問する親戚に伝えるようにしてください。例えば、オンラインゲームの時間制限や、モバイル機器へのアクセス可能な時間の制限などがあります。子供が、これらのルールを祖父母や他の家族に説明してくれると思ったら大間違いです。「ルール帳」を作って、子供がよく訪問する親戚と共有することも検討してみてください。
- **コントロール:** 子供が保護者よりもテクノロジーに熟知している場合、子供はその知識を積極的に利用する可能性があります。例えば、祖父母が利用しているパソコンの管理者権限を要求し、ルールで制限されてできなかったことをしようとする場合があります。例えば、親が遊んで欲しくないゲームをインストールするなどです。親戚に対しては、子供に新たな権限を与えてはいけないことを理解するように説明をしてください。

詳しくは

毎月発行のセキュリティウェアネスニュースレター「OUCH!」をご活用ください。また、OUCH!のアーカイブで過去のトピックも参照できます。詳しくは、SANSセキュリティウェアネスソリューションのサイトをご覧ください。<http://www.securingthehuman.org>

日本語版翻訳チーム

日本語版翻訳 - NRIセキュアテクノロジーズ株式会社

NRI セキュアテクノロジーズは、国内最大の情報セキュリティ専門企業です。マネージドセキュリティサービス、コンサルティング、ソフトウェアソリューションの提供を通じて、情報セキュリティのあらゆる視点からお客をサポートします。

<http://www.nri-secure.co.jp>

リソース

- | | |
|--------------------|---|
| 2段階認証について: | http://www.securingthehuman.org/ouch/2013#august2013 |
| パスワードマネージャーについて: | http://www.securingthehuman.org/ouch/2013#october2013 |
| ソーシャルエンジニアリングについて: | http://www.securingthehuman.org/ouch/2014#november2014 |
| 一般的なセキュリティ用語: | http://www.securingthehuman.org/resources/security-terms |

OUCH!はSANS Securing The Human プログラムによって発行され、[Creative Commons BY-NC-ND 4.0 license](http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/)に従って配布されます。このニュースレターを再配布し、もしくは啓発資料としてご利用いただけますが、コンテンツの改変は認められません。翻訳その他に関しては、ouch@securingthehuman.org までお問合せください

Editorial Board: Bill Wyman, Walt Scrivens, Phil Hoffman, Bob Rudis

Translated By: 内山 貴之, 時田 剛



securingthehuman.org/blog



[/secrethehuman](https://www.facebook.com/secrethehuman)



[@secrethehuman](https://twitter.com/secrethehuman)



[securingthehuman.org/gplus](https://plus.google.com/securingthehuman.org)